



ひとはなぜおこったり泣いたりするの

おこったり泣いたりするのは、人間の感情の一つ

「人間は感情の動物である」といわれます。おこったり泣いたりするのは、この感情の表れの一つなのです。

感情というのは、身の回りにあるものを、見たり、聞いたり、さわったりして感じる、気持ちがいいとか、気持ちが悪いとか思う、自分の気持ちのことですが、自分の体の状態によって起こる感情もあります。

感情の種類は5つに分けられていますが、おこったり泣いたりすることは、そのうちの、情緒、または、情動の中に入れてあります。

情緒・情動とは

情緒・情動とは、おどろき、いかり、なげき、悲しみ、おそれ、大喜びなどのような、激しい感情のことです。

このようなときには、しばらくは、落ちついて考えることができなくなったり、顔や体に変化が出たりします。

そのため、おこったときには顔色が変わったり、体がふるえたりすることがありますし、悲しいと泣いたりするのです。

おこったり泣いたりするのは、人間として自然なことなのです。（監修・保志 宏）

